



意外な人気?低山なのに高原風の沢ハイク

足尾 仁田元川～オロ山

大田原

【日時】 2015年6月13日(土)

【メンバー】L大田原、棚橋、竹澤

あの「日本の秘境」に紹介されているオロ山に登ってみよう。残雪期に行こうかと思ったが、稜線を歩くだけではつまらない。沢の時期を待って、仁田元川から周遊ハイクの計画にした。直前で竹澤さん、棚橋さんからの参加表明をいただき、思いがけずパーティー登山になった。



距離が長いので銅親水公園を早めに出発する。林道を歩くがもう暑い。傍らには日本の山に似つかわしくない紫の釣鐘型の花が咲いている。あとで調べるとジゴキシンらしい。強心剤としては知っていたが、こんな花なの…。外来種とのことなので、誰かが植えたのだろうか。1時間ほどポクポク歩くとスリットダムが沢を塞ぐ林道終点。左岸から巻く。水は澄んで美しい。森の緑も美しい。なぜか私は足尾の緑色が好き



【まるでアルプス(言い過ぎ?)】



【溪相よいが魚影見えず】

だ。
 沢は「ハイキング」と呼ぶ 【ジゴキシン。薬と毒は紙一重】
 ぶにふさわしい癒し系で、気持ちよく遡行する。日差しは強いが、吹く風が心地よい。お昼寝でもしたくなるが、先は長いので歩を進めていく。稜線が低くなり視界が開けると、1745へ詰める二俣。胸下の笹を漕ぎ漕ぎ稜線へ出る。皇海山のきれいな三角形がすぐそばに見える。ここでまったり休憩。ふと、熊鈴のような涼やかな音がかすかに耳に入った。耳鳴り?幻聴?まさかハイカーがいるとは思わず、音の聞こえる方をじっと見ていたら、竹澤さんも「鈴の音しません?」。よかった、幻聴じゃない。俄かに話し声が聞こえたと思ったら、4人の元気なハイカーが現れた。お互い人がいたことに驚いて言葉を交わす。踏み跡があるようなないような広い尾根を少々でオロ山。ここで記念撮影したら、あとはひたすら石塔尾根を辿っていく。道がはっきりしてきた。樹林がなくなるところで再び人に会う。単独ハイ

カーだ。意外と人気なんですね〜と話していると、沢入山を過ぎたところで続々と登ってくる超軽装の外国人の一团+犬とすれ違う。おお、人だらけじゃないか。竹澤さんによると外国人向けのツアーではないかとのこと。3000m級を思わせる稜線は確かに素敵だが、あえてここをツアー先に選ぶのですか…。鉱毒でできた景色ですけど。中倉山を過ぎて道はくいと南へ向かい、1時間の急降下。膝にこたえます。へろへろしながらようやく銅親水公園に帰った。疲れてしまつて帰りの運転は棚橋さんがずっとしてくださった。私は睡魔に勝てず爆睡…すみませんでした〜。

【グレード】1級

【行程】銅親水公園(6:40)～林道終点(7:45)～1745(12:00)～オロ山(12:35)～中倉山



(14:15)～銅親水公園(15:40)

【地図】中禅寺湖



【オロ山は見晴良好】



足尾／仁田元川
【日時】2015年6月13日(土)
【メンバー】大田原(L)、棚橋、竹澤
【作図】棚橋